



山の仕事は奥が深い。
就職してからも
毎日発見があります

北森カレッジ2期生 2023年卒業
三笠市 | 堀川林業株式会社
内田 圭亮さん

目的もなく大学に進学するより 好きな自然に関する 実践的な学びの場へ

札幌市出身の内田さんの趣味は釣り。子どものころから釣りをしながら自然の中で過ごすのが好きだったそう。冬になると、自宅からそう遠くないスキー場に通い、ウインタースポーツを楽しんでいたと話します。「高校卒業後の進路を考えたとき、特にやりたいことがあるわけでもないし、そんな状態でただ大学に行くのもどうかな…とっていました。そんなとき、親戚の人から北森カレッジのことを教えてもらって、面白そう!と思ったんです」。

そこで、「北森カレッジのオープンキャンパス」に参加。山仕事で使う実物の重機なども見せてもらったり、実習も多数あるとの説明を聞いて「目的もなく大学に進学するより、北森カレッジに入って





実践的に学び、技術が身に付くことを学んだほうがいいなと思いました。その時はまだ林業についてよく分かっていなかったけれど、自然の中で体を動かすのも好きだし、将来の選択肢のひとつとして林業も候補に入れようと思いました」と話します。入学に際して推薦の枠があると知り、「推薦で行きたかったので、北森カレッジに行く決めてからめっちゃくちゃ勉強を頑張りました」と笑います。

北森カレッジでの学びを経て あらためて 林業の世界で生きようと決意

無事、推薦枠で合格を決めた内田さん。北森カレッジでの学校生活について、「座学の勉強は覚えることもたくさんあって結構大変でしたが、実習・実技はとても楽しかったです。先生たちもやさしくて、山のことをイチから丁寧に教えてくれました」と振り返ります。楽しかった実技・実習を尋ねると、「チェーンソーの使い方や重機の運転の仕方とか、どれも奥が深くて面白かったのですが、強いていうなら冬のスノーモービルに乗る授業が個人的にはすごく楽しかったです。スノーモービルに乗れるなんて!とテンション高めでした」とニコリ。



また、釣り好きの内田さんは、学校のクラブ活動でも釣り部に所属。「もともとは海釣り派だったんですが、旭川市周辺には川しかなかったのですが、自然と川釣りをやる機会が増えましたね」と笑います。休日は、クラブのメンバーと釣りに行くほか、旭川市の市街地へクラスメイトたちと出かけるな

ど、公私ともに充実した2年間を過ごしました。

北森カレッジで学びを深め、就業実践実習で実際の林業の現場も見て「あらためて林業の仕事に就きたいと強く思いました」と内田さん。なかでも山の現場に出て働きたいと希望し、就職先は林業会社がいいと考えていました。

山仕事の良き先輩たちの 背中を追いかけて 勉強と発見の日々

内田さんが就職した三笠市の堀川林業は、4代続く歴史ある会社。国有林をメインに造林、造材を行い、製材工場も有している会社です。「就業実践実習で来たとき、とにかく皆さん仲が良く、雰囲気がとても良かったんです。働くなら、こういう会社で働きたいなあと思いました」と内田さん。林業では珍しく現場の女性スタッフも数名抱えている同社は、社内の風通しの良さが魅力。社員の意見を取り入れながら、性別に関係なく働きやすい環境整備に努めているほか、会社全体で若手を丁寧に育てていこうという意識の高さも感じられます。これまでも岩見沢農業高校からの就業実践実習は数多く受け入れていましたが、北森カレッジからの就業実践実習は内田さんが第一号、採用ももちろん初めてだったそう。



内田さんは現在、木材の集積場所でもある山の土場の仕事をひとつずつ覚えている真っ最中。取材に訪れた際も先輩に教えてもらいながら、丸太の太さを測る検知を行っていました。「覚えることはたくさんあって毎日勉強ですが、毎日発見があるんです。それが面白いですね。先輩たちがやさしく丁寧に教えてくれるのもありがたいです」。先輩たちと談笑している様子を見ていると、内田さんが先輩たちにかわいがられているのがよく分かります。

北森カレッジで学んだことが仕事でも役立っていると話す内田さん。「チェーンソーや重機などの扱い方、安全に関する取り組みなど、林業の基礎

を北森カレッジでしっかり学べたのは良かったと思います。何も知らないでいきなり現場に入っていたら、こんな風に仕事に取り組みなかったかもしれないです。あと、一番大きかったのは、北森カレッジに通いながら林業に必要な資格をたくさん取得できたことですね」と話します。内田さんは在学中に10以上の資格を取得したそうです。

「外で体を動かすのが好きなので、体力には自信があったのですが、就職してすぐのころは、先輩たちの後をついて山の中を歩くのも大変でした。とにかく皆さん歩くのが速くて。そして、歩くスピードはもちろん、先輩たちが素早く一見簡単そうに行っている作業も、いざ自分がやってみると難しいことばかり」と、山のプロフェッショナルである先輩たちのすごさを実感していると言う内田さん。最後に、「先輩たちのようにまんべんなく素早くすべての作業ができるよう、今はひとつずつ技術を磨いていきたいです。ひと通りできるようになったら、その中から特に得意な作業を見つけ、それに関しては誰にも負けにくいぐらいの自信を持ちたいですね」とこれからの目標を話してくれました。



Company Message

素直な内田くんには、これからも 楽しく仕事に取り組んでほしい

堀川林業株式会社／代表取締役 高篠 孝介さん

おかげさまで、現時点で人材不足ということはないのですが、それでも5年後、10年後と先のことを見据えると、これからも少しずつ若手を採用し、育てていかなければと考えています。北森カレッジからの採用第一号となる内田くんは、本当に素直で真面目。周りのスタッフとなじむのも早く、いい人材が入ってくれたと思っています。まずは、楽しく仕事をしてもらえた

らと考えています。北森カレッジには林業に興味がある人、山や自然が好きな人が集まっていますし、林業の基礎をしっかり学んだ上で就職するので「林業の現場に入ってみると、想像と違った」というようなミスマッチも少ないのではないのでしょうか。今後も北森カレッジからの就業実践実習の受け入れを行っていきたく考えています。